

子供たち

日本幼児教育振興会
副理事長
漢字楽習の会主宰
土屋秀宇
森敬恵 ソプラノ歌手

対談

善悪の判断がつかない
子供がなぜ増えたのか

森 ご病気をされたとお聞きして心配していましたが、お元気そうで何よりです。

土屋 四月に大きな手術をしました、ようやく体力を取り戻したと

の心を育てる 日本の詩歌

唱歌や短歌・俳句をはじめとする日本の詩歌。その美しい言葉とリズムは日本人の豊かな情感を養い、心の糧ともなってきた。日本の伝統的価値観が失われ、心の荒廃が進む中、詩歌の伝統を後世に受け継ぐべく活動を続ける漢字教育の第一人者・土屋秀宇氏とソプラノ歌手の森敬恵氏に、子供たちの心学としての詩歌の意義をお話しいただく。



森敬恵——もり・としえ

愛媛県出身。東京芸術大学大学院オペラ科修了。二期会会員。NHK・FM放送「セビリアの理髪師」で五十嵐喜芳と共演。中国政府招聘オペラ「魔笛」など数々のオペラに出演。現在、「甦れ！日本の心コンサート」というトーク・コンサート運動を各地で行い、大阪では「日本の心を歌い継ぐ会」を発足させた。

土屋秀宇——つちや・ひでお

昭和17年千葉県生まれ。40年千葉大学教育学部卒業。平成2年船橋市立法典東小学校校長。全校挙げて取り組んだ漢字指導で読売教育賞受賞。日本漢字教育振興協会事務局長、理事長を歴任。現在日本幼児教育振興会副理事長、漢字文化振興会評議員。「漢字楽習の会」を主宰。著書に「学校では教えてくれない日本語の秘密」(芸文社)などがある。

ころです。病気をきっかけに長年お世話になった日本漢字教育振興協会のほうは理事長を下ろさせていただいて、いまは日本幼児教育振興会というNPO法人に所属しております。

動などもぼちぼち再開しています。森先生も相変わらずお忙しいそうですね。

森 ええ。「甦れ！日本の心コンサート」と題した童謡・唱歌を中心とするトークコンサート活動を全国各地で行っているところです。土屋 オペラのプリマドンナでい